

議員全員協議会会議録	
1 開会日	令和 2年 3月 3日 午後 5時20分 開会 午後 6時16分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	高橋英俊 鈴木京子 石川則男 竹内恵美子 清田文雄 吉川 諭 鈴木たまよ 奥津勝子 二宮加寿子 渡辺順子 吉川重雄 飯田修司 玉虫志保実 柴崎 茂
4 説明員	町側出席者 中崎町長 栗原副町長 野島教育長 和田政策総務部長 仲手川教育部長 杉山参事（危機管理対策担当） 竹内危機管理係長 佐野町民福祉部長 瀬戸スポーツ健康課長 齋藤総務課長
5 職務のため出席した職員	局 長 大槻直行 書 記 熊澤 晃
6 協議等の事項	(1) 新型コロナウイルスへの対応について (2) その他
7 その他	一般傍聴 なし

(1) 町報告事項

①新型コロナウイルスへの対応について

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染拡大の防止対策に向けた町の対応状況を把握するため、確認等を行った。

◎主な質疑

問：3月4日に開催予定の第2回大磯町危機管理対策本部会議では、どのような対応をされるのか。

答：町の公共施設の利用について、最終的な方向を決定していきたい。

問：運動公園などで行われるイベントの状況は。

答：町としては、施設内で行う事業、会館等の閉鎖された中で、多くの方が集まる事業について、基本的に中止の方向で考えている。外で行うものについては、近隣の状況を踏まえて決定していきたいが、統一した見解を出さざる得ないと思う。

問：2月7日に開催した第1回大磯町新型コロナウイルス対策検討会議の中で、町民への周知とあるが、どのような内容か。

答：ホームページを活用し、うがい、手洗い、咳エチケット等についての周知徹底をお願いした。

問：ホームページを見ることが出来ない人への配慮は。

答：2月27日に発行した広報に合わせて、全戸にチラシを配布した。

問：2月7日の検討会議の中で、衛生物品購入、配布とあるが。

答：スポーツ健康課でマスクや消毒液を購入するとともに、町の公共施設へ調査の上、適宜配付した。

問：配付したマスクの利用は、どのようなか。

答：公共施設の各窓口を持っている部門へ配付した。窓口対応の際、咳等の症状があり、マスクをお持ちでない方にお渡しする方向である。

問：朝の子どもの居場所づくり事業、学童保育の状況は。

答：各小学校区で運営する法人に依頼し、対応していただいているが、スタッフを集めることに相当な困難を要したと聞いている。

大磯小学校区は長期休業体制で朝の子どもの居場所づくり事業、学童保育を対応していただいている。国府小学校区は、学童保育のみ長期休業体制で対応をしていただいている。

問：小中学校とも年度末であり、色々な経費等の精算はどうなるのか。

答：適宜、保護者へ連絡をする。

問：中学校3年生の卒業旅行中止に係る精算は。

答：旅行規約に基づき一部、キャンセル料が発生すると聞いている。学校で計算の上、各保護者へ対応する。

問：年度末で町内の会館等を利用する機会が増えると考えるが。

答：平塚市、二宮町など近隣では、地域集会施設は原則休止という形を取っている。今後の大磯町危機管理対策本部会議の中で検討する。

問：学校や幼稚園の休業に伴い、職員の対応はどうされるのか。

答：研修や平時に出来ない業務をお願いしたいと考えている。

問：幼小中の休業に伴い、子どもの外出への対応は。

答：インフルエンザでの休業と同様に遊びに行つて良いという訳ではない。自宅学習を含め、各保護者に指導している。

問：町民が病院を受診するタイミングはどのようなか。

答：国から示されているとおり、37度5分以上の熱が4日間以上続くなど、感染の疑いがあるようならば、平塚保健福祉事務所に電話し、対応を確認していただきたい。

問：新型コロナウイルス対策検討会議の構成メンバー、会議時間はどのようなか。

答：第1回は、政策課、総務課、財政課、危機管理課、スポーツ健康課、学校教育課、消防署の課長職で構成し、第2回は、第1回の課長職に加え、三役と部長職で構成した。第3回は、第2回の職員に議会事務局長を加えた。第4回は、第3回と同じ構成とした。会議は各回、概ね30分程度の開催時間であった。

問：大磯町危機管理対策本部会議の設置はどのようなか。

答：大磯町危機管理対策本部設置要綱に基づき、町長、副町長、教育長、部長級職員全員で構成している。

問：幼小中の休業を決めた法的根拠は。

答：地方教育行政の組織及び運営に関する法律や大磯町立の幼稚園、小学校及び中学校の管理運営に関する規則等に基づき対応した。

問：教育委員会を開催しなくても休業を決められるのか。

答：臨時休業は学校長等の判断となる。今回は、感染が発生しておらず、恐れがあるという状況の中で、学校長等の判断だけでなく、教育委員会全体の判断として、全園校一斉に休業とした。

問：学童に行っている人数は。施設は狭くないか。密集しないような対策は。

答：大磯学童は登録が130名で、昨日今日で50名から55名が利用している。国府学童は登録が104名で、昨日今日で46名から50名が利用している。

学童は一人当たり1.65平米の面積が必要であり、大磯学童は101人まで、国府学童は74名まで収容できる。

今後利用者が増えた場合は、各学校に相談し、1年生の学年スペースや空き教室を借りたいと考えている。

問：特別支援級への支援はどのようなか。

答：各校長等で協議し、教員が訪問する対応で、当面の様子を見ることとした。

問：各施設の中止、延期イベントは、情報を各施設に掲示する必要があるのでは。町の掲示板を使うことも検討するべきではないか。町民か

らの問い合わせに統一窓口の設置が必要ではないか。

答：危機管理対策本部会議を立ち上げているので、そこでの決定事項を各所属の職員にも伝え対応している。

問：町内にある私立の幼稚園、保育園の状況はどのようなか。

答：通常どおり運営していると聞いている。

問：町教育研究所の状況はどのようなか。

答：通常どおり運営している。

